



10月号 令和3年10月4日発行

# 荏田小だより

横浜市都筑区荏田南町694番地 [TEL 911-]



## 先生カエルはじめてさわったよ！ ～デジタル（オンライン）とリアルの価値～

校長 伊藤 智樹

9月1日からはじまった分散登校が終わり、今日から一斉登校となりました。分散登校期間は、ロイロノートによる学習課題の送受信、ビデオ会議システム「Google Meet」を使ったオンライン体験など保護者の皆様にはご負担をかけてしまい申し訳ありませんでした。一斉登校になったとはいえ、新型コロナウイルス感染症が終息したわけではありません。引き続き市のガイドラインにそった感染対策を行いながら教育活動を継続したいと考えます。

先日内田んぼのまわりで生き物観察をしている子どもたちを見かけました。iPad 端末で写真を撮る一方でカエルをじっと観察して直接さわって感触を確かめている様子でした。「先生、カエルはじめてさわったよ！」と笑いながら担任の先生に話していました。その様子を見て私はホットした気持ちになりました。また、6年生が図工で水墨画の学習をしているときの子どもたちの姿、墨の香りも同じように感じました。



今回と昨年度の臨時休校・分散登校の大きな違いは GIGA スクール構想実現に向けた iPad 端末の導入です。学校により実施内容の差異はありますが、コロナ禍が学校のデジタル化を促進させた面があります。昨年度の機器整備・校内通信環境では考えられなかったことです。この1ヶ月間で子どもたちの ICT に関するスキルは着実についてきました。教職員は機器操作といったスキルだけでなくその指導・運用方法についても試行錯誤を続けながら最適解を探ってきました。『学びを止めない』という感染症対策としてのオンライン（デジタル）だけでなく、『学びの多様性』の点からも ICT は有益な学びの手段であると考えます。



一方で、デジタル化やオンライン化が進めば進むほど、リアルの価値も高まると思います。オンライン画面に映し出されているクラスの友達を見て「早く学校で話したいなあ」とつぶやいている子どもの声を聞くこともありました。



情報の共有やコミュニケーションはオンラインでも可能ですが、五感で感じられる、実態や手触り感のあるものや体験（荏田小では、米作り、畑の生産活動など）はオンラインでは得ることが難しいことがあります。こうした五感で得られる自然や文化といったリアルな面を教材・教育環境として有しているのが、荏田小の強みです。

デジタルとリアルでの学び双方の良さを生かしながら教育の目的である「人格の完成をめざす」ことをめざしたいと思います。

メール配信でお知らせしていますが現時点での行事の変更は以下の通りです。

- 運動会・・・・・・・・○○○○○に延期。
- 5年西湖宿泊体験・・・県内日帰りによる実施。実施日および場所については検討中。
- 6年日光修学旅行・・・○○○に変更。
- 荏田っ子まつり・・・・○○○に予定していたもちつきは中止。それに伴い○○はお休み。  
○○○○は通常授業日（給食有）。  
学習発表会は期間を分散して各学年で実施。

今後感染状況により更なる行事の見直し・日程変更などが生じる可能性があります。その都度メール配信や学校HP等でお知らせしていきたいと思っております。